



◀ 団長 植木英策さん

(長門プラスチック社長)



大草雅司さん▶

(未利用資源活用
組合組合長)

帰国レポート

第二次経済友好視察団

—シンガポール編—

に添っての都市計画、又、道路の周辺をグリーンと花で囲む環境美化計画、とにかく町が美しく整備されていたという事に感心しました。驚いたのは横断橋とビルの下の部分を花、あるいは緑で囲み、コンクリートが見えない様にするなどいたる所で環境美化に對する工夫がされている。これらすべてが政府の方針で実施されていると聞いて本当にびっくり、ちょっと日本では考えられない感じがしました。

■水野 土地そのものも小さいが、その約九六%が国の所有、又、多民族で中国系・マレー系・インド系、その他沢山の民族が集まった混住国家ですね。住宅については日本



▶ 総合レジャー・リゾート地
「セントーサ島」

の公団住宅と同じような形態で三ランクあり、家賃も日本に比べてかなり安い。スラム街を撤去、その土地に高層公団住宅の建設、その中にスラム街の人を入居させ仕事を与える。この政府の計画発表から実行に移るまでの期間の短い事には驚いた。日本ではとて無理なことだが、これを堂々と行っている。指導者、政府の力の強さ、又、国民の政府に対する信頼の深さはやはり日本と違うような感じがしました。

■金子 労働者の平均収入にも大きな格差があつて、工業立国らしく技術系関係の仕事に従事している労働者の方が一般労働者よりはるかに収入が多い。その差十五万円と五万円、大卒の初任給でこれだけの大きな差があるのも工業立国を目指すシンガポールならではのことでしょね。

■宗本 家賃も安いし、給料からの天引きで将来的には自分の持家になる制度もよい制度ですね。又、日本円で約五百万円くらいで家を買えるとは日本ではちょっと考えられない。企業も支給給料の二十五%、個人も給料から二十五%をそれぞれ資金として捻出



◀ ヘビ君を首にかける
珍商売もあります(大野団員)

し基金を設立、その利息を政府がいろいろな政策の財源の一部として運用、従って医療・年金制度も充実している。こんな国に住んで、みたいですね。(笑)

■大野 鶏肉、豚肉以外の食糧はすべて外国からの輸入。朝・昼・晩、毎日おいしい食物、新鮮な果物、ジュースをふんだんに食べました。おいしかったですね。特に宿舍のホテルの近くの屋台で飲んだビール、なんとも言えませんね。日本のビールよりシンガポールのビールの方がおいしい気もしましたが、あの焼きとりだけは日本と違って甘すぎて食べられませんでした。又、突然のスコールには驚きました。空全体が赤くなりアツという間に雨が降って来ますね。(笑)